



便利に収納しよう！ WIC “ウォークインクローゼット”

収納のなかでも、とくに衣料用の収納をクローゼットといいます。クローゼットは作り付けの洋服ダンスのようなもので、ウォークインクローゼットは人が入れる衣料専用の納戸のようなものです。最近の住まいでは、大型で大量に収納が可能なウォークインクローゼットを設置するケースが増えています。そこで、今回はウォークインクローゼットの特長や便利な使い方を特集しました。



特長

ウォークインクローゼットとは、人が中に入れて作業ができるサイズのクローゼットです。間取り図の記号では「WIC」と書かれています。ハンガーパイプや棚のレイアウトもスペースによって多少異なります。コンパクトなウォークインクローゼットではL字型が多く採用されています。細長いスペースの場合は一列のI字型を、広めのスペースが



確保できる場合では左右に収納スペースがある二列型が多く採用されています。ウォークインクローゼットはまとまった空間に、効率的な収納を確保することが目的ですから、使い勝手を考えると2畳以上の広さを確保する事をおすすめします。

活用方法



ウォークインクローゼットを正しく活用するためには、普段から整理・整頓を心がけることが大切です。ウォークインクローゼットは棚というよりも一つの部屋になっているので、詰め込むだけでは、かえってどこに何があるかがわからなくなってしまいます。衣類を必要な時に取り出しやすくす

ることが大切です。利用頻度の高い衣類を取り出しやすいところに収納するのが基本ですが、その他にも収納や整理のルール



を作ておくと上手に活用することができます。

たとえば、ブラウス・ワイシャツ・ジャケット・スーツ・コートなど同じ種類の衣類をまとめて、短い順に並べるというルールなら、見た目もすっきりして衣類を探しやすくなります。衣類の丈をそろえて収納する事でその下に収納ケースや整理棚を置くことができ、あらたな収納スペースが生まれることになります。

その他には、コーディネートごとにまとめることで組み合わせを考える時間も短くすることができます。

メリット



最大のメリットは、衣類をまとめてしまえるため、管理がしやすいことです。その他にバッグ、アクセサリーといったファッショニアアイテムも、衣料といっしょに同じ場所で収納すると、お出掛けの準備が簡単になります。さらに十分な広さを確保することができれば、ウォークインクローゼット内で着替えたり、広さによってはスーツケースやゴルフバッグ、スキー用品といったレジャー用品や季節のアイテムまで収納することができます。

デメリット



ウォークインクローゼットは人が出入りするスペースが必要となるため、その分収納スペースが減ることがデメリットといえます。また、収納するスペースが大きく、アイテムも多くなるため、適当に詰め込んでしまうと、モノがあふれて何がどこにあるのかわからなくなり、かえって整理整頓が困難になるという状況が生まれます。自分なりのルールを決め、正しく活用することが重要です。

迷ったら、経験豊富な
ハウスメーカーに聞いてみよう！



ママとパパとワタシにやさしい展示場。
山陽新聞岡山住宅展示場